

第 I 章 中学校・高等学校英語の学習内容及び学習指導上の課題

1 中学校と高等学校の学習内容

(1) 学習指導要領における指導目標

中学校外国語	高等学校外国語
外国語を理解し、外国語で表現する基礎的な能力を養い、外国語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てるとともに、言語や文化に対する関心を深め、国際理解の基礎を培う。	外国語を理解し、外国語で表現する能力を養い、外国語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てるとともに、言語や文化に対する関心を高め、国際理解を深める。

(2) 高等学校学習指導要領改訂（平成元年12月）の要点

- ① 目標は、外国語を理解し表現する力を養い、外国語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てるとともに、言語や文化に対する関心を高め、国際理解を深めることとした。
- ② 生徒の能力・適性に応じた指導が一層可能になるようにするため、科目の構成を改め、コミュニケーション能力の一層の育成を図ることを基本として、総合的な英語力の育成に重点を置いた指導、聞くこと及び話すことの能力の育成に重点を置いた指導、読むことや書くことの能力の育成に重点を置いた指導など、多様なカリキュラム編成ができるようにした。
- ③ コミュニケーション能力を育成するための言語活動を一層活発にするために、科目により指定されていた言語材料を弾力化した。
- ④ 国際理解の基礎を培うため、教材選定の観点を改善し明確化した。

(3) 中学校と高等学校の学習内容のつながりと学習指導について

- ① 「聞くこと」において中学校では、内容を聞き取ることに重点が置かれているが、高等学校ではそれに「自分の考えなどをまとめること」が付け加えられている。
- ② 同様に、「話すこと」において高等学校では、中学校での活動に付け加えて、「読んだ内容について、自分の考えなどを話すこと」とされている。
- ③ 同様に、「読むこと」において高等学校では、中学校での活動に付け加えて、「ま